

ポリナビワークショップ in さいたま



**訪問看護中の駐車違反对策 看護連盟の活動で道が開けた！
埼玉県看護連盟&埼玉県訪問看護ステーション協会の連携紹介。**

※詳細はアンフィニ〈No.551〉P34～特集をご覧ください

Contents

ごあいさつ	2
ごあいさつ/衆議院議員 あべ 俊子 参議院議員 石田まさひろ 友納りお	3
石田まさひろ 埼玉を駆ける	4~5
支部活動報告	6~8
研修報告	9
連盟からのお知らせ	10



看護の心を、
みんなの心に

<https://www.kango-saitama.jp/>



ごあいさつ

埼玉県看護連盟 会長 おおた 多田 則子

2025年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には平素より看護連盟の活動にご支援・ご協力をいただき誠に心より感謝申し上げます。

昨年は年明け早々に発生した能登半島地震をはじめ多くの災害に見舞われ命が脅かされ不安を感じた年でした。

2025年は穏やかにそして巳の年は蛇のごとく「新たな挑戦」「変化に対して前向きな姿勢」にふさわしく、被災された方々の一日も早い復興再生が進むことを願い、共に前を向いて安心した生活が取り戻せるよう願っております。

また、2025年は第27回参議院選挙の年。看護の力を最大限に活用できる現場づくりには政治の力が限りなく必要で、会員の一人ひとりの協力がなくては前進することができません。埼玉県看護連盟は会員の皆様と一緒に歩を進めて共に活動してまいります。

新たな挑戦とともに実り多き年となりますよう祈念いたします。



日本看護連盟 会長 高原 静子

新年、明けましておめでとうございます。

会員の皆様には心より新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、年明け早々に能登地震、日向灘地震、豪雨災害など、自然災害の多い年でした。災害時も、人々のいのちと暮らしを守る活動をする看護職、そして、地域社会で医療チームの一員として力を尽くしている看護職の皆様は深く敬意を表します。その献身的な活動が、国民一人ひとりのいのちと暮らしを守り、社会の健康を支える原動力となっています。

2040年に向け、医療の機能分化と連携推進、医療・介護人材の確保と育成、デジタル技術に対応した改革を進めることが喫緊の課題であり、看護もより一層の柔軟な対応が求められます。

日本看護連盟は、都道府県看護連盟・看護協会、看護職国会議員と共に力を合わせ、看護職一人ひとりがその力を十分に発揮できる職場環境の確保等に取り組んでまいります。

今年は「乙巳（きのとみ）の年です。「乙巳」の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられています。

本年が皆様にとって、健康で実りの多い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



埼玉県看護協会 会長 澤登 智子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年、元日に能登半島地震が発生し、この災害に伴い本会は災害支援ナースの派遣を行いました。1月11日から2月23日の55日間に、県内26施設から32名の災害支援ナースが16班体制で支援に入りました。派遣にご協力いただきました皆様には改めまして深く感謝申し上げます。

令和6年4月から災害支援ナースは法定化され「災害・感染症医療従事者」に定められました。本会では新制度の災害支援ナース養成研修を令和5年度から開催しており、令和6年度も2回開催いたします。養成研修を受講いただいた皆様のご所属におかれましては、埼玉県行政と協定を結んでいただき、今後の災害発生時や新興感染症の蔓延時における支援にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

本会では、会員の皆様のご協力をいただき、委員会活動と地区支部活動を進めております。県民の健康な生活の実現に貢献するため、看護の質向上を図り、幅広い分野で看護の役割発揮に努めるとともに、看護職が安心して働き続けられる環境づくりを今年も推進してまいります。また、看護政策の実現に向けた活動の取り組みでは、埼玉県看護連盟との協働を大切に進めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新年あけましておめでとうございます。今年も新しい年を迎えることができたこと、大変喜ばしく思います。

前回の衆議院総選挙では厳しいご審判をいただいた中、あべは第二次石破内閣において再度、文部科学大臣を拝命し、これまでに「誰も取り残さない」教育を掲げ、医療的ケア児対応や不登校の課題、過疎地における学校の存続問題、看護教育のあり方、地域に残る人材育成などに取り組むことができました。これも常日頃、みなさまからのご支援とご指導をいただいているお陰です。心から感謝申し上げます。

あべは、岡山県で政治家としてお育ていただきましたが、10増10減で選挙区がなくなり、今回は比例九州ブロックから当選させていただくこととなり、大変ご心配をおかけいたしました。厳しい選挙も力強くお支えくださったみなさまには、必ずや政策でご恩返しをさせていただきます。

かつてないスピードで世の中のあり方が変わり、不確実性や複雑性を増す時代において、人材育成のための教育は国の基（もとい）と信じて、みなさまの声を聴かせていただき、日々努力してまいります。看護は、命を慈しみ、大切な人を護るための知識と技術が学べる素晴らしい仕事であると、次世代に胸を張って伝えられるよう看護職の地位向上や環境改善に皆様と共に全力で取り組んで参ります。

本年もどうぞよろしくお願いたします。



埼玉県看護連盟の皆様、日頃より温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。

埼玉県内各地をご訪問させていただき、多くの皆様からお話を伺いました。現場では、看護記録の多さに対する業務負担や診療報酬改定による病院経営への影響等、課題が山積しています。働き方改革が進み、夜勤免除等の子育てしやすい環境が整備され、離職者が少なくなった一方で、夜勤職員が不足して病床縮小の検討を余儀なくされた病院等もでてきています。刻々と変化する現場課題を伺う中、人口減少時代に突入した今、「量を守り、質を追求する」ための看護政策の必要性を強く感じました。新しい年を迎え、地域の医療を守り抜き、時代に即した看護政策実現のため更なる邁進を決意し、心を新たにしています。

国会においては予算委員会委員と厚生労働委員会委員、国会対策委員会副委員長を拝命しました。



医療・介護への更なる支援を得られるよう、令和7年度予算の成立や厚生労働政策の実現に向け、尽力して参ります。

本年も看護連盟・看護協会と連携しながら、寄せられたご意見等、国政の場に繋げて参ります。引き続き、国政の場で活動するため、皆様の力強いご支援をお願い申し上げます。



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

この新しい年を、内閣府大臣政務官という新たな職務をいただき迎えています。

弁護士は司法、国会議員は立法、政務官は行政に携わるお仕事です。看護職の働く環境を整え、安心して働いていただくために、あらゆる立場でかかわることができることは大変嬉しいことです。政務官としての仕事は、国会議員として作り上げた政策や法律を、今度は実行する立場になります。法律に基づく制度や法律が皆さまのもとに行き渡るように、適切にPDCAサイクルを回しながらより良いものとなるように取り組んでまいります。

政務官としての担務は、こども・子育て政策、男女共同参画・女性活躍、経済安全保障、科学技術、宇宙政策から拉致問題まで多岐にわたります。幅広く政策に携わるからこそ政策に横ぐしをさして考



えられることがあるものと前向きに捉え力を尽くします。

看護職の処遇改善、人材確保、働く環境整備、ハラスメント、業務効率化などの看護・医療に関する諸問題には、引き続き、石田まさひろ先生と力を合わせて取り組みます。

看護の現場の声を国政に！初心を忘れず目の前の課題に1つ1つ丁寧に向き合います。本年が皆さまにとってよりよい一年となりますよう祈念致します。





石田まさひろ

「いつも現場目線、看護の未来へ。」

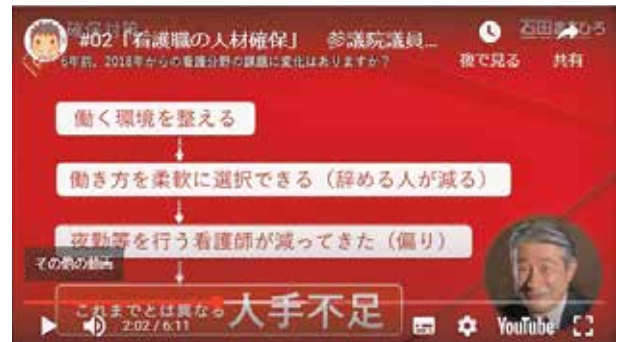
石田まさひろ議員の動画をご紹介します



#01 「看護の課題2025」



#02 「看護職の人材確保」



コロナ禍における看護職の処遇改善に関する石田まさひろ参議院議員の質疑動画です。



視聴はこちらから



埼玉を駆ける



#03「生涯を通じた学び」



#04「看護職の処遇改善」



青年部の活動について

埼玉県看護連盟青年部 中野 祥子

埼玉県青年部は、各支部からの20代～40代のスタッフ10名と担当幹事1名で活動しています。埼玉県では選挙の時だけでなく、普段から協力関係を築くため県議会議員との交流を企画したり、「どのようなしたら若者たちに政治や看護連盟に興味を持ってもらえるか」を考えながらポリナビワークショップを企画しています。11月15日にも第14回ポリナビワークショップ in さいたまを開催し、多くの会員・非会員の方々にご参加頂きました。講師には石田まさひろ参議院議員をお招きし、超高齢化社会を迎え、今後人口減少が進んでいく中で「看護の質」をどのように保っていくかをテーマにご講演頂きました。その後、グループワークを行い、「現場での看護の質を保つためにどうしたらよいか」について、2～4年目の若手看護師から20年以上のベテラン看護師までが意見を出し合い、学びを深めることができました。今後も皆様の興味関心の高いテーマや政治に興味を持ってもらえるような企画を考えて参りますので、お気軽にご参加いただけたらと思います。

また今年度委員会では、昨今の若者の政治に対する認識について理解を深め政治への興味関心を高めるために、アンケート調査を実施していく事になりました。皆様のご意見・ご要望を取りまとめ、今後の青年部としての活動内容に盛り込んでいく予定です。ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

支部活動報告

● 第1支部 支部長 久保田 昌子

第1支部役員は5名で、1～2か月ごとに集まり、支部活動の活動計画策定や計画推進にむけた会議などを行っております。

◎施設訪問

令和6年9月12日、4施設、令和7年1月22日、3施設の訪問をさせていただきました。各施設の看護部長様をはじめ、看護師長様との有意義な意見交換をすることができました。

◎研修会

今年度は、令和6年11月16日に『投資』について研修会を開催いたしました。看護連盟 青年部 戸口代表から活動について説明をしていただいた後、むさし証券・株

田里衣氏から投資の基礎について講義をしていただきました。将来の生活資金を増やしたいがどうしたらいいか、投資について興味はあるけれどどうしたらいいか、NISAってどうしたらいいのかなどについて、基本的な内容の話をしていただきました。講義を聞いて、投資についてさらに興味がわいた方が多かったです。今回の研修会には、49名の方にご参加いただくことができました。



青年部 戸口代表

● 第4支部 支部長 上田 幹子

支部研修を積極的にすすめています。中でも『地域連携の実際—魅力的な取り組みと課題—』は、講師の講演を聞いたうえ、それぞれの立場で感じる手ごたえや悩み、困りごとなどをざっくばらんに話していくことで、互いの立場からは見えにくかった景色を知ることにつながったと感じています。これを機に、たくさんの施設に伺うことも叶いました。顔見知りになった方々と改めてお目にかかりお話をし、「そうなんですよ〜」などと連盟活動の意義をかみしめあったりできることは、連盟にとっても“顔の見える”関係作りになっていくと期待しています。



● 第6支部 支部長 佐伯 和枝

研修後、石田まさひろ議員にZOOM参加していただき、意見交換を行いました！

「在宅医療」をテーマに3回シリーズで研修会を企画しました。「よく見る傷のケアについて」「在宅医療へのつなぎ方①②」とハイブリッド形式で開催しました。3回目の研修後に、「石田まさひろ議員」にZOOMで参加していただきました。議員の率直な意見や国会で議論されていることなどとても貴重な時間を共有することができました。

参加した皆様からは、「石田まさひろ議員と対談できたことは素晴らしく、看護と政治が結びついたと思いました」など、大変良い評価でした。



● 第3支部 支部長 安良岡 幸子

今年度より支部長1名、幹事長1名、幹事2名の体制となり、支部会を予定していても誰かが体調不良でお休みになるという役員の少なさを感じる一年でした。そのような中でも研修会を開催することができました。研修会では、看護連盟会員歴数十年の支部長の私から、看護協会と看護連盟についてお話しましたが、少しでもご理解していただけたら幸いです。研修は埼玉精神神経セン

ターの榮子伸子認知症看護認定看護師に「認知症の方への関わり」について講義をしていただきました。高齢者の母がいる私が一番勉強になったと思います。来年度の研修は現在検討中ですが、色々な分野の認定看護師にお願いしようと考えています。ご希望がありましたらぜひお知らせください。

● 第7支部 支部長 内野 悠子

今年度より支部長と支部幹事長をそれぞれ拝命し、活動を進めております。2人とも初めての経験でまだまだ不慣れではありますが、会議や研修、他の役員の方々と交流を通して、看護政策を含めた看護連盟活動について少しずつ理解を深めている最中でございます。引き続き、少しでも貢献できるよう努力していきたいと思っておりますので、ご指導・ご支援のほど宜しくお願い致します。

第7支部の今年度の活動の一つとして、12月に脳科学者である村山正宜先生を講師にお招きして、「人生100年を生き抜くため～キラキラ脳の作り方～」をテーマに研修会を開催致しました。とても興味深いテーマで、参加者からも、「脳科学の視点で認知機能について学ぶことができ、ためになる話を聞くことができて良かった」、「脳

のことをもっと知りたくなった」といった声が数多く寄せられました。全体を通して、初めて触れる知識や概念が多く、学びの多い貴重な時間となりました。



● 第5支部 支部長 佐藤 孝洋

次年度の選挙に向け、オンライン会議を中心に定期的に情報共有を行っています。

3月には会員施設内にて「資産運用について」の研修を実施予定です。写真は「写経」の研修を実施した時のものです。



● 第8支部 支部長 辻村 文子

7月に上級睡眠健康指導士を招き「健康と睡眠について考えよう～良い睡眠をとるために～」の研修を開催しました、今すぐに実行できる内容であり、参加者のアンケート結果でも好評でした。



● 第9支部 支部長 関 由美子

第9支部は、埼玉県中南部に位置している日高市、南西部に位置する飯能市になります。秋に咲く曼珠沙華(彼岸花)の群生が日本一の埼玉県日高市「巾着田」と郊外型レジャー施設「ムーミンテーマパーク」がある飯能市と大変にぎわいのある地域です。支部主催の研修会は、クリティカルケア認定看護師吉野暁子氏より「災害時における看護師の役割」をテーマとしてご講演いただきました。旭ヶ丘病院を会場とし47名の方に参加していただきました。参加者からは、「災害発生時に瞬時に対応できるようにBCPの把握と見直しが必要だと分かりました。今年度中に修正できるよう部署の見直しに取り掛かっています。そして来年度災害時訓練を実践することを目標としました。」などのご意見をいただきました。

今年度は、新たに3施設を加え計8施設を訪問させていただき意見交換を行うことが出来ました。



● 第11支部 支部長 竹中 証

第11支部は、羽生市・加須市・鴻巣市等10市3町から成る広い支部です。範囲の広い支部なので、地域や病院の把握が難しいところもあります。支部活動や研修会を通して、地域の看護師の皆様と交流し、連盟活動をたくさんの方達に知っていただきたいと考えています。

「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」をもとに、現場の声を国政に届けるために活動を続けていきたいと考えています。看護職同士の交流に留まらず、地域で活躍する様々な職種の方々と、繋がる機会を設けていきたいです。宜しくお願い致します。

● 第2支部 支部長 荒井 清美

第2支部は、埼玉南西部の富士見市、ふじみ野市と川越比企の川越市の3市で構成され、東武東上線沿線上の地域です。今年度の活動は、研修会、施設訪問を行いました。病院連携している施設もありますが知らないことも多い現状です。施設訪問をすることにより、病院での悩みや、日々の活動など情報共有ができました。看護連盟の活動としての会員を増やすところまでには至りませんでした。地道な活動の大切さを感じました。

● OB支部 支部長 黒澤 美佐子



研修会講師
みんなの保健室 陽だまり 服部満生子 氏と。

● 第10支部 支部長 清水 京子



秩父地域看護師会共催研修会

2024年度 関東甲信越ブロック別政策セミナーに参加して

埼玉県看護連盟 副会長 真々田 美穂

2024年11月8日、関東甲信越ブロック協議会運営によるハイブリッド研修にオンラインで参加しました。3名の講師からの講義は、看護連盟会員の使命、役割を改めて考える機会になりました。

石田まさひろ参議院議員の「看護の未来 求められる看護政策とは」の講義では、人口減少が最大の社会課題であり、職場環境を変えても人は増えないため派遣を検討するなどナースセンターの機能を充実させること、看護職の業務整理と効率化など「量を守り質を追求する」ことが未来へ向けて重要であると述べていました。

井本寛子日本看護協会常務理事の「日本看護協会の重点政策と重点事業」の講義では、2040年に向けた看護課題や期待、生活を支える医療への転換の促進など具体的施策を示していました。看多機の設置促進・周知普及に向け介護保険制度改正を国に要望し法案が成立したこと、看護職のキャリアアップに伴う処遇改善に向けた取組みが紹介されました。看護協会と看護連盟との連携、そして何よりも看護系国会議員への働きかけに伴う良好な関係性が功を成したのではないかと考えます。

クリケア訪問看護ステーションの辻本雄大氏による「心を動かす効果的なプレゼンとは」の講義では目的達成のために行動変容を促すための一手段がプレゼンであり、人は簡単には行動しない、心を動かす効果的なプレゼンと（ト）は相手がもらってうれしい、対象に関心を寄せることであると話していました。講師からの問いかけ「あなたが考える看護連盟の魅力は？」を参加者各々が言語化し、会員確保のヒントになるワードが沢山挙がりました。看護の未来を見据えて、現場からの声がひとつでも実現できるようこれからの連盟活動に活かしていきたいと思えます。



リーダー研修Ⅱ

埼玉県看護連盟 幹事 島尻 美恵

2024年11月1日（金）、埼玉県看護連盟主催で「リーダー研修Ⅱ」が開催されました。今回は、「診療報酬改定の実践」をテーマに、講師として長面川さより先生をお招きいたしました。

先生には、2040年に向けた政策動向を踏まえ、看護管理者が取り組むべき課題や、診療報酬改定に伴う細かな変更点や具体的な事例も交え、実践的な内容についてご講演いただきました。2025年を控え地域で一貫した医療と介護の連携を実現するための地域医療提供体制についても、重要なポイントを強調してご紹介いただきました。

今回の研修は、看護管理者としての役割と、その責任について深く考える機会となりました。様式9号は勿論のこと、入院基本料、入院基本料等加算に係る施設基準などを十分に理解した上で、組織運営に当たることの重要性を改めて学ぶことができました。その中でも特に、診療報酬を算定することを目的として捉えるのではなく、各々の施設基準を遵守することが、患者さんに提供するケアの質を担保することに繋がるといってお話は、とても印象に残りました。看護管理者として施設基準の持つ意味を十分に踏まえた上で組織整備を進めていけるように、この研修での学びを現場に持ち帰り、取り組んで参りたいと思えます。



国会見学

埼玉県看護協会 常務理事 各務 初恵

12月5日穏やかな日差しの中、いちょう並木に癒された「大人の修学旅行」となりました。国の重要な機関が集まる国会議事堂周辺は、緊張する空間でしたが、ここで私たちの「くらし・いのち」を守る議論がされるのかと思うと、興味は益々高まりました。参観コース<参観口ビー→参議院本会議場→御休所→中央広間→前庭（正面で写真撮影）>を係（衛視）の方の丁寧な案内で、日本の歴史を学ぶ機会にもなりました。次に向かった参議院議員会館では、友納議員、石田議員の部屋での写真撮影は心とむひと時でした。埼玉県選出の議員の方々のご挨拶を受け、日本が抱える課題について、現在そして将来に向けて、熱く語っていただきました。



お知らせ

日時	内容	場所
5月13日(火) 17時45分～18時15分	石田まさひろオンライン講演会	埼玉県看護協会研修センター内
6月20日(金)	決起大会	レイボックホール (市民会館 おおみや)
6月28日(土)	埼玉県看護連盟通常総会	ザ・マークグランドホテル

連盟会員 入会受付中!

年会費	日本看護連盟会費	5,000円
	埼玉県看護連盟会費	3,000円
	計	8,000円

賛助会員：会費1,000円 学生会員：無料



皆様のご入会をお待ちしております

事務局より

「会員情報変更届」をお忘れなく

姓の変更・転居・施設異動など、登録情報に変更があった場合は「会員情報変更届」の届出をお願いいたします。連盟ホームページより届出できます。

会員数……3,142人

保健師	62人
助産師	114人
看護師	2,940人
准看護師	26人
2025年1月末日現在	

編集後記

新年あけましておめでとうございます。インフルエンザが大変流行っていますが、会員やご家族の皆様はいかがでしょう？日々の業務も忙しいですが、美味しいものを食べてゆっくり休むことも大切です。

さて今年はいよいよ選挙の年となりました。皆様一人一人のご協力をお願いいたします。(T・Y)

東洋羽毛

睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

*オンラインセミナーの開催も承ります。

《お役に立てる主な研修》

- 医療安全対策研修 睡眠不足とヒューマンエラーの関係や、交代制勤務における睡眠のコツなど
- 学校保健委員会 「学力」や「部活動」、「スマホ・ゲーム」と睡眠の関係
- 高齢者の睡眠ケア 高齢者の睡眠マネジメントやこれだけは知ってほしい生活習慣

*他、施設内研修などご相談承ります（事前にお打ち合わせにお伺いする事も可能です）

睡眠セミナー講師は状況に応じて感染予防対策を実施しています。

◆セミナーに關しましては、二次発コードよりお問い合わせください。届出よりご連絡させていただきます。
https://www.toyoumo.co.jp/seminar



東洋羽毛北関東販売株式会社
〒362-0017 埼玉県上尾市二ツ宮963-3

埼玉営業所
TEL 0120-223-062